

3000年の歴史をもつ経絡治療、刺さないはり灸で腰痛からPTSD、脊柱管狭窄症も改善へ導く



上／はりの存在を全く感じない、痛くないはりも特徴
右／7周年の名取市那智が丘店 左／地下鉄仙台駅から徒歩3分。仙台朝市の中の新仙台駅前ビル3階にある



「病は気からは、昔からよく聞く言葉。病気も気が病む」と書くが、この「気」の解釈としては気持ちであるという他に、全身を巡る生命エネルギーの流れを表わすといわれる。

「東洋医学では人間の全身に

は陰陽の気の流れがあるとされます。この気の流れが経絡であり、皆さんになじみのあるツボとは、この経絡上で気つまり生命エネルギーが特に滞りやすいところを指します。この気の流れが滞ると血の流れも滞

り、体の不調につながるのです」と話すのは、こんのはり灸治療院の院長である今野先生だ。

はり灸治療とは、3000年以上の歴史を持つ東洋医学における経絡治療、経絡上のツボをはり灸を用いて整えていく施術といつもの。はり灸というところでも痛いイメージを持っている読者も多いに違いないだろうが、「こんのはり灸治療院のはりは痛くないので驚く。」

「皆さん、施術中は目を閉じていて、もういいですよ」と言っていると、終わったんですか、本当にはりしましたか?と言われる方も多そうです。というのも経絡とは、人の皮膚のすぐそばにあるのではり灸は皮膚にそっと触れるだけで、なので、痛くないのです。」

そんな今野先生のもとには、ひどい痛、腰痛の人はもとよりPTSDの方まで様々な体の不調に悩んでいる人が訪れ、改善されているそうです。その中で、昨年秋くらいから多いのは脊柱管狭窄症の患者さんだそうです。特徴

としては以前は60代以上だったのが今は40代から予備軍で、スマホやパソコンが背骨に影響を及ぼしている、と先生は話す。

「なぜ、はり灸に来院されるかというと、病院では治すには手術が必要といわれ、手術は避けたいという方が来られています。」皆さんここで刺さないはり灸を受けられ、半年から1年でシビレや痛みもなくなり、元通りの生活を取り戻されるそうです。

「長い間重い症状だった方も、だいたい1ヶ月たつと、施術の効果が持続してくるという。」

今野先生は、東洋医学と西洋医学のすみわけや協力がもっとできるようになり、現代医療が進めばいいと思います。外国ではそうした国も増えているようです」と話す。

「治りの早い遅いはその人の状態によるといいます。体に負荷(ストレス)がかかって体の生命力(エネルギー)は損なわれていく、それにより症状が出る。その疲弊した生命力を上げて初めて、施術の効果が現われるのだそうです。一人一人、その疲弊具合が異なるために治療までの時間も違ってくると言っただけだ。」

「東洋、西洋とアプローチは異なっても、いずれの医学も患者さんを治したいという目的は同じで、ストレス社会、医療費40兆円超え、高齢化社会において、現代医学で西洋医学とともに東洋医学、経絡治療が果たせる役割は多いと思います」と穏やかな笑顔ながら、力強く話す。

「体はついで全てつながっています。例えば腰の治療で来院していた人の生命力がアップすることで、腰ばかりでなく、全身の他の症状や、心も元気になるんですよ」と今野先生。何か気になるところのある人は、ぜひ先生に相談してみたいかがたろう。



「東明塾のはりで全国各地・世界中に出張施術が目標です」と話す今野院長



仙台仮庵店
仙台市青葉区中央3-8-5
328号室
受付時間／9:00～18:00
完全予約制 当日も対応
予約電話番号は本院共通
こんのはり灸院 検索

本院
名取市那智が丘4-1-15
☎022-393-4030
受付時間／7:00～22:00
完全予約制 往診も対応
出張施術／10:00～21:00
休診日／日曜 他臨時休業日あり